



黒川 美克 議員

### 高浜市公共施設あり方計画について

#### 高浜市役所本庁舎整備事業について

**問** 維持管理費も含めてリースとした理由は。

**答** 市本庁舎整備事業の趣旨は、旧庁舎の耐震、劣化

改修を行い、今後20年間維持した場合の維持管理費や運営費を含む、33.2億円でトータルのメリットを求めたもので、募集要項や要求水準書を示して民間事業者のノウハウを最大限生かした提案を第三者による選定委員会の評価をもとに選定した結果。

**問** 光熱水費の見直しで年間約500万円のメリットという答弁でしたが、清掃費等の維持管理費も見直す考えは。

**答** 庁舎整備事業は、公募型プロポーザルにより、複数の業者から提案を求め、事業内容、コストを含め第三者による選定委員会の評価をもとに契約の相手方の選定をした。事業者は全体事

業費の範囲内で、施設整備費、解体費、維持管理費、運営費等を調整して提案している。光熱水費は職員の意識で増減する使用料のため、他の維持管理費等と性質が異なるため、リースから外すことができたと考える。個々の事業費の見直しは、契約の一部破棄にもなりかねないため維持管理費の一部を直営に戻すことは考えていない。

### 高浜市立図書館の機能移転について

**問** 図書館は、郷土資料館にもなっており、多くの資料が残っている。今の図書館を利用して市内の公共施設が上手に利用できるような考え方は。

**答** 蔵書や郷土資料を残して保存していくことは大事なことである。

現在の考えでは、現状の図書館に残して保存する考えである。ただし、図書やかたの館ではなく、図書の貸出しとか、レファレンスの機能は今の図書館でなくても、別なところにあってもよいのではないか。それぞれ複合化することによってメリットがあるのであれば、別のところにその機能を移してもいいと考える。



倉田 利奈 議員

### 新型コロナウイルス感染症対応について

**問** 夏休み明け9月1日の小中学校の欠席者数は。

**答** 小学校75人、中学校90人。

**問** 感染を心配して、欠席している児童・生徒がいると聞く。全国的に自治体が、

感染症対策として、オンライン授業を取り入れはじめています。刈谷南中学校においても、コロナの臨時休校によりオンライン授業を取り入れた。本市においても早期の導入が必要では。

**答** 授業の様子や授業そのものを効果的に配信する方法について研究が進んでいる。

**問** ワクチン接種のため、ホームページを検索するが「見にくい」「欲しい情報を得ることが困難。」といった市民からの声が届いている。また、近隣自治体では、LINEやアプリなどで予約状況の最新情報を知ることができる。本市の情報提供についての考えは。

**答** 現在は、ホームページで周知しているが、見

にくいという声は届いていない。今後は、LINEの立ち上げに向けて検討していきたい。

**問** 高浜市のワクチン接種率が低い理由は。

**答** 他市に比べて接種する医療機関が少ないことが理由であると考えます。

**問** 近隣市では、集団接種を土・日も行っている。また、刈谷市は、集団接種を夕方や夜間も行っている。高浜市の集団接種は平日の日中と日曜日は月2回のみである。

今後、臨機応変に集団接種を行う予定はないか。

**答** 考えていない。

**問** 集団接種をおこなっている高浜豊田病院は、なぜ16歳以上の市民限定なのか。

**答** 小児科を標榜していないことから、中学生以下の接種をおこなっていない。

**問** 旧分院をコロナ対応に利用するよう医師会から申し入れがあったと聞くが、その内容と対応は。

**答** PCR検査場所として活用してはどうかとの提案はいただいた。今後、市内医療機関が検査を実施できることと、県がドライブスルー方式による検査場所の設置を進めていたことから、当市は行うことは考えていないと回答した。